

第29回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第29回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会	
日時	平成21年11月13日（金） 18：00～20：55	
場所	人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	今井範子、片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、山口清和、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久（郡寫委員長、古海委員、坊委員は、欠席）
	事務局	岩井部長、西村次長、息田次長、仲参事、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、川内
	コンサル	館田剛志、中尾剛
開催形態	非公開	
決定事項	9カ所の候補地から4カ所の候補地を選定 （⑥-1、⑥-2、⑨-1、⑨-2）	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料60 第28回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案） 資料61 前回委員会の議論を踏まえた評価項目の重み付け案について	
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第28回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
岩井部長	・「部長挨拶」
委員長代理	1. 議 事
事務局	● 今日は非公開での策定委員会であります。会議の概要は、後から公開します。点数付けの相談を粛々と進めたいと思います。 では、資料確認をお願い致します。
事務局	・「資料確認」
渡邊委員長代理	(1) 第28回策定委員会議事録概要版の確認
事務局	● 議事録ですが、議事録概要版、修正ありますか。
渡邊委員長代理	● 現在のところ委員の皆様からは特に訂正等のご意見は頂いてません。
事務局	● 皆さん、よろしいでしょうか。
渡邊委員長代理	(2) ごみ焼却施設の候補地選定について
事務局	● 候補地選定の重み付けについて、事務局から今までの経緯等含めて説明頂き、決めていきたいと思います。
渡邊委員長代理	・「前回の委員会での議論を踏まえた評価項目の重み付け案について」(資料61)の説明
事務局	・ 廃棄物処分場があることによる影響で、廃棄物処分場が立地していないところは評価点6点を、7点に修正。(資料61-1)
渡邊委員長代理	・ A、A [〃] 、B案の3案で重み付けの評価表を整理。(資料61-2) A案「生活環境重視型」、A [〃] 案「生活環境・自然環境のバランスの重視型」、B案「環境重視型」
事務局	・ 総合評価点をパソコンで計算して集計できる対応。(資料61-3)
渡邊委員長代理	・ 比較表で、修正がなければ、最終案。(資料61-4)
事務局	● A、A [〃] 、Bのどれかを選んで、小項目の点数を決めて、重み付けを決めて、ズバツと決めてしまうのが、一番筋。A、A [〃] 、Bについて皆さんどうお考えですか？どれでやってもあんまり結果は変わらないのが一番望ましいと思いますが。
佐藤委員	● まずA案について小項目を議論して入れていったらどうでしょうか。
元島委員	● 配点の加減が平均的じゃなく、強制的なものを意識付けしてやったほうがいいと思います。小項目・中項目の配点の結果、答えが出たという論理は残しておかないといかんと思うんです。
渡邊委員長代理	● 具体的に数字を入れていきたいのですけれども。
森住委員	● 委員会としてこの3つのどれか決めたほうがいいと思う。 この生活環境と自然環境を同等とするよりも、生活環境に重きを置いた方がいいと思いますので、A案がいいと思います。
笹部委員	● B案とA案の差でいうと、奈良市の財政状況から経済的な効率是非常に重

渡邊委員長代理	<p>視すべきだと思います。あと生活環境か自然環境かですが、生活環境の方を重視すべきと思ってます。A案をとりたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ひとまずA案を中心に議論するとして、小項目の数字について、ご意見を頂きたいと思います。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺の住宅の立地状況と道路の混雑度の増加率は、少し配点高くした方がいいと思います。一番影響の大きいファクターですから。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私も賛成です。住宅の近接状況、道路交通への影響を7、7とおいて、施設配置の制約を6で、市民持込利便性を5でどうでしょうか。
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の移転が、左京にある状況から出た話ですので、住宅の近接状況は、他と比べて高くしたほうがいいと思います。
笹部委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済効率で、この施設、何十年と続くはずですので、維持管理、収集運搬にかかる費用を他より重視すべきだと思います。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済効率に関しては、基礎的な資料に基づいて、出していると思いますので、5、15、10でいいと思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理のところをウエイト置くことに反対はしませんが、初期の費用もかなりの額になります。5、15、10の3倍はどうかという気はします。廃棄物処分場があることによる影響をどの程度重視すべきかですが、初期投資と廃棄物処分場による影響は同じか、むしろ廃棄物処分場があることによる影響のほうが低くてもいいという気がします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設整備にかかる費用は、建設コスト並びに造成コストで、短期の一括の当初の費用で、評価点も3と5しか表記してませんので、開きはありません。維持管理、収集運搬コストにかかる費用は、点数が1点から7点で、開きのある点数表示をさせて頂いて、初期投資コストに比べれば、20年程度稼働しますと2倍以上の費用負担になるので、重きをおいた方がいいので、15点配点をさせて頂きました。 廃棄物処分場があることによる影響で、2点、4点、7点と開きの点数を付けてますが、ボーリングのデータがないことと、産業廃棄物対策課で聞いたデータを考慮し、廃棄物処理に多額の費用が必要という話で、ウエイトを大きくして10点で、5点、15点、10点の案を5点刻みで作らせて頂きました。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市の今の財政から、10、15、5に変えて初期投資を少し意識したらどうでしょうか。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期投資を10、維持管理を15、リスク分を5ですね。土壤汚染対策法の半年程前の改正は、汚染土壌をあんまり移動するなという改正になってます。気軽に掘り返しますと、後でものすごくお金がかかる仕組みになってます。封じ込めることで対策しなさいという方向に導くようになってきてます。掘り返すんだったら非常に大きなお金がかかる訳で、封じ込めで済むのであればお金もかからないと考えられますから、5、15、10を、10、15、5と変えても、悪い話ではないと考えます。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済効率の中の維持管理・収集運搬の15は、ほぼ大勢だと思いますので、

	<p>残りが15になりますから、その割り振りが、10対5と7対8と考えられるけれども、やっぱり設備にかかる費用のほうを重くして、結論的には10、15、5でいいのではと思います。</p>
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 候補地の応募状況をかなり重視すべきとなっていたと思うんです。20と10位でいいんじゃないですか。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の方は、土地利用の現況の方が配点高くすべきですね。下は用途指定の解除し易さが目安ですから。
笹部委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 僕はむしろ逆かなと思ったんです。用途指定はその土地に着目して、一定の制限なり加えてる訳なんです。そっちの方が重視すべきだと思います。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私も利用の現況は量的な変化で、指定は質的な変化で、同等という考え方も出来、性質の着目の方が若干多いとして、7、8にするのはどうでしょう。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章にして公開する前には、全部の項目に客観的な判断の注釈は作って頂きたいと思います。
今井委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅の近接状況に関して、今までの経緯からしますと高くてもいいのでは。他の経済効率、用地取得の難易度等々の小項目の数値との関係で見ても、7位の数値でいいかどうかと。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私も賛成です。一番最後の用地取得の難易度のところで、10、20でどうかという話になってますが、候補地の応募状況が20となりますと、突出して多いんです。手を挙げてるのは、⑥-1、⑥-2と⑨-2だけで、あとは評価されない訳で、そこが20となると、他の一生懸命やった生活環境などは5、6、7です。用地取得の難易度は、B案のように、25とか20に見直しする必要があるんじゃないかなと。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ここの30点の10点を、上の40点の所に足して50点にしたらどうでしょう。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 最初の考え方が大項目、中項目でやったけども、やっぱり小項目のところで決まっていく訳で、小項目どおしでも、全体でバランスとれないとおかしいと思うんです。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私も賛成で、上を50にして、その中で生活環境を35にすれば、住宅の近接ももっと配点ができると思うし、用地取得を20に落とすと、50で35、15で割るのがいいんじゃないでしょうか。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 結局小項目の数が多ければ多い程、一項目あたりに分配される点数が少ないから、妙に住宅の立地状況よりも、応募状況の方が大きく見えるとまずいというお話で、仕切り直しで。一番上の住宅の立地状況を大きくするのであれば、ここは10で。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 上から10、8、10、7の35でどうでしょう。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 次はどうでしょう。7、8。ここは10、15、5。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 最後のところで、応募状況15で権利者数5であれば、バランスとれますか。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は10、10でいいと思うんです。応募状況が15は全体の中で一番トップになりますからね。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 権利者数はあまり影響がないという話ですね。

佐藤委員 笹部委員	<ul style="list-style-type: none"> ● とすると、もうちょっと圧縮した方がいいかもしれん。 ● 一定の時期までに出来ないとかかん訳ですよ。本当に用地取得できるかは、決定的な重要性があるはずなんです。権利者数が多いかは、場合によっては難しくなるかも分かんですけども、この人数の方は低い点数で5点、15点でいいと思います。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地を取得する応募状況は事業が始めるかどうかです。それから収集運搬、ランニングコストは事業を始めてから続けることができるかという、この2つ。住宅の近接と道路交通が生活環境の大きいものということで、20点と考えれば、この15よりも生活環境の身近なところを重要視していると見えますので、バランスはいいとは思いますが。
片山委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 小項目の配点で、施設配置の制約、施設にかかる費用2つの項目が、図面上できちっと検討してないと思うのです。廃棄物が埋まっているところを避けてできるなら、そんなに配慮しなくてもいいし。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分検討していないところに重きはあまり置くもんじゃないということですか。施設配置で、形が扇形とか蝶々みたいとかは、10haとはいうものの使い易い土地かどうか。施設整備費用で、崖の上でしたら削らないといけなとか3次元的に使いにくいとか、幹線道路から離れていると道路を付けないといけなとか意味していると思いがすが。
片山委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の区域設定が、9地区の中で20何haの大きいものもあり、10haに限ってないですね。その選択用件はまだ詰めてない中で、どう説明するかは確認しておかないと弱い気がします。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 重み付けの前の点数は、3、4、5で、これ位の差しかない。ただ考慮しなければならぬ項目という位置付けと思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地の所有者数、候補地の応募状況、同じ10、10でいいと言いましたが、撤回致します。候補地の応募状況15、土地の所有者数5でいいと思います。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活環境の上から2つ目と3つ目は、入れ替えた方がイメージがいい感じがするんです。上の10、10が、まさに近隣住民に直接関係するところです。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 小項目の順番を10、8、10じゃなくて10、10、8、7に入れ替えると。確かに住宅近接状況、道路交通への影響、施設配置、市民持ち込み。それでいいと思いますよ。 <p>これで概ね異論がなければ、集計してみたらどうかと思うんですけども。</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 片山委員の問題提起に対して、回答出さないと。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設配置の制約と施設整備にかかる費用をどれ位検討したかですが。
片山委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の段階では、大きな地区でしたら、交渉の過程の中で場所を設定する形になると思いますので、あまり配点を大きくしないで。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 何点にしたらいいか言ってもらった方がいい。
片山委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活環境の施設配置の制約と経済効率の施設整備にかかる費用との関係は、一律に配点を大きくあるいは小さくすればいいのじゃなく、プラスマイナスの関係になると思うんです。

渡邊委員長代理	● それが広い土地があって、どこにするか決まっていない状態で、ここであまり点数付けられないということで、重み付けが大きいのは、いかがなものかというご意見なんですね。そうしましたら、この10、8、10、7と書いている、この8の部分とここから3取って、市民申込利便性も2取って、例えば住宅の近接状況の10を15位にしますと、15、5、10、5になります。
事務局	● 自然環境だけが7点、8点という表記になって、残りは5点刻みになってますけども、15点が5と10に整理できれば、5点刻みで整理できますが。端数の説明が難しいことも考えられます。
森住委員	● 端数じゃないです。15点の配分の問題ですから。たまたま他のは15、5になっただけで、5点刻みの発想で点付いたのと違いますから。
渡邊委員長代理	● 自然環境のところを5にすると、環境は軽視かと思われやすいので難しいところですね。ここは7、8で。
元島委員	● 重み付けについて、委員会として非常に苦慮したところとして残しといたらいかがが。
渡邊委員長代理	● これでひとまずやってもらいましょうか。
事務局	● これが点数です。今現在決めて頂いた重み付け点を掛けた数字で、トータル点並びに下には棒グラフで表示させて頂いています。
コンサル	● ③-4が321点、次が356点、次が460点、次が482点、次が310点、次が298点、その次410点、その次が405点、最後が270点です。
佐藤委員	● 482に460ですから⑥-2、⑥-1が一番上で、その次はちょっと開いてから⑨-1、⑨-2ですね。ポンと跳んで300台の356で⑤-1ですから、2つにするか4つにするかになると思います。
吉岡委員	● 絞り込むのであれば、少ない方がいいので、随分460点と410点で優位差がありますからね。⑥-1と2が妥当かと思えます。
渡邊委員長代理	● ⑥-1と⑥-2が、突出していて、⑨-1、⑨-2が明らかに⑥の2つよりは低く、それ以外はもっと低いということで。⑥-1と⑥-2を。僅差で、ここで一つに絞ることは難しいので、⑥-1と⑥-2を候補とするということはいかがでしょう。
森住委員	● ちょっと待って下さい。その4つにしておいて、地元の人との話し合いで決める方がいいと思います。
渡邊委員長代理	● 違いはここなんです。だから、応募状況。
森住委員	● 4つにするか、2つにするという議論をもっと詰めた方がいいと思います。
渡邊委員長代理	● ここでガラッと変わるんだったら、応募状況が実はあるんだとかですね。
森住委員	● その点で変わってるね。応募の面積が少ない訳ですね。そこで点数も低くなってるし、応募された土地もかなり端の方で、敷地の選定しにくいところでしょう。説明がついたらいいんですけどね。
渡邊委員長代理	● やっぱ、ここの圧倒的な違いですね。
森住委員	● 一番上は最高得点105点も採ってるしね。
佐藤委員	● ⑨-1のところは15点ですよ。左は105点ですから、90点違うから、その

	<p>点を抜きにすると逆転する訳です。その次も60ですから、あれは45位違いますから。そこの地元の状況によってはグッと有力な可能性もある訳です。この段階での判断で2つに絞っておくのがいいのか、状況を見るために、4つにしておくのが無難なのかと。</p>
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● では、4カ所ですね。⑨を候補地として入れる理由は、応募状況のところ、大きく点差が付いてるけれども。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 400点以上ということでもいいんじゃないんですか。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● では、4カ所。公表で順位を付けるか付けないかですが。
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 4カ所が入っていくとすると、大変は大変ですよ。2カ所が優位差が付いてるんだから2カ所に絞って、万が一だめだったら、⑨-1と⑨-2もやるということがあってもいい気もするんですけども。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 4カ所にして、地元との話し合いで1カ所に絞り込む方がよいと思います。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● この数字はいつかは公開する訳ですけど、残すのは400点以上であったというのと、一番上の105点、住宅との近接状況で、この会議の発端となったところで、これが最長不倒距離出してるということで、重み付けの数字以上に、心情的には外しにくかったということもあると思います。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日は濃い会議でしたが、終わりましょうか。
<p>渡邊委員長代理</p>	<p>(3) その他</p>
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1月19日火曜日の次の会議を決めなければいけないですが、いつがいいですか。3月5日の金曜日どうでしょうか。終わりましょうか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間に渡り、ご審議を頂き誠に有り難うございました。これをもちまして閉会とさせていただきます。